

世界へ羽ばたく ニット産地「五泉」

五泉市は「五つの泉が、豊かにわき出る里」と言われるように、古くから豊富な水に恵まれた清流の里。寛保2年(1742年)から織物産業が生まれ、明治・大正・昭和と羽二重を製織する織物産地となりました。しかし昭和20年の大火や戦後、和装から洋装へのライフスタイルの変化が転機となり、この後、五泉はニット産地へと生れ変わりました。ファッションをまちの産業に据えて以来、品質向上に努め、現在では日本一のニットのまちとして常に新しい製品を発信しています。

五泉ニットには、未来を担う若手後継者が多く存在し、染色・整理・刺繍・プレスといった二次加工技術が集積しており、地域内での染色から製品の完成まで可能なことなど、国内で五泉にしかない「規模(インフラ)」が整っている数少ないニット産地です。その高い技術力によって、日本有数のアパレルメーカーの受注生産を手掛け国内トップクラスのニット産地として高い評価を得ています。

五泉ニット工業協同組合では、産地が一丸となり、五泉の技術力とポテンシャルを活かし、ニット産地のブランド化と競争力を高め、消費者をはじめ国内外のアパレルメーカーや商社から「五泉といえばニット、ニットといえば日本の五泉」と認知される産地の確立を目指しています。



キレイなニットの証

キレイなニットづくり、
メイドイン五泉の五泉ニットには、
五泉ニット工業協同組合が制定した
「Gosen Knit」ブランドの
シンボルが施されています。
それはキレイなニットの品質を
約束する目印です。
つくる人のセンスと愛が
込められています。

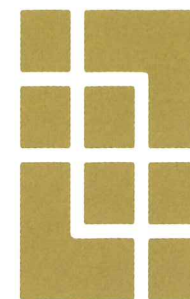


五泉ニット工業協同組合

TEL 0250-42-2156

〒959-1824 新潟県五泉市吉沢 1-1-10

<http://www.gosenknit.or.jp>



Gosen Knit

五 泉 ニ ッ ト

HOW TO MAKE KNIT?

ニット製品ができるまで

ニットってなに？

糸染め

ニットの糸は最初の段階では染められていませんので、製品仕様が決められ必要な糸が決定後、その色に合わせて染色されます。

企画

色、柄、デザインを打ち合わせした後、編み機を動かすためのデータづくり（パターン製作）を行います。出来上がったデータはフロッピーディスクなどで編機に読み込まれます。

編立

編機の性能向上により、複雑な編み・柄の再現が可能になっています。縫い目のないニット、ホールガーメントにも積極的に取り組んでいます。

縫製・リンク

円を描くように針の取り付けられたリンクミシンを使用し、襟や袖等の細かな部分の縫い合わせを行います。

刺繍

個性的な製品に上げるため、刺繍でしか表せない表現があります。様々な絵柄や、エンブレム等を刺繍します。

裁断

無人裁断機の他、高い技術が必要とするバンドナイフと呼ばれる手動裁断機を使用してサイズや色、パーツ別に裁断して行きます。

風合い出し

ニット編地の風合いを高め、もっと優しく柔らかい生地仕上げる工程です。

仕上・アイロン

ボタン等の付属品を取り付け、出来上がった製品はプレスをかけて指定通りの寸法に調整したり、シワなどを直して最後の仕上げを行います。

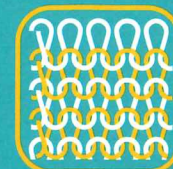
出荷

仕上げ作業後、検品が終わった製品は製品タグ等が付けられ、包装、梱包されて全国へと出荷されて行きます。

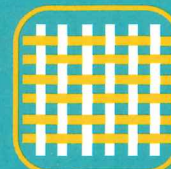
ショップ・エンドユーザー

What is the KNIT?

ニットとは『編む』という意味の英語の動詞です。織物が糸を縦と横に交差するのに対し、糸をループの連鎖で編み上げた総称をニットと呼びます。ニットは伸縮性に富んでおり、身体にフィットし動きやすく着心地がいいのが特徴です。



ニットの構造



織物の構造